

お知らせ

米沢市消費生活センターからの情報です。



令和6年1月31日

令和6年能登半島地震に便乗した詐欺的トラブルにご注意を！

今回の地震に関連して、「市が義援金を集めているという不審な電話がかかってきた」、「支援品を求める不審な訪問があった」といった相談が全国の消費生活センター等に寄せられています。地震に便乗した不審な電話はすぐに切り、訪問があっても断ってください。

地震発生後は、被災地、被災地以外に関わらず、地震に便乗した詐欺的トラブルや悪質商法が多数発生しますので、十分に注意してください。



若い男性から携帯電話で「市が能登半島地震の義援金を集めている」という電話があった。休日であったことと携帯電話からであったことから不審に思い「別で義援金を送っている」と返答した。市が義援金の窓口になっているのか。電話で義援金を募ることはあるのか。

(四国地方の自治体からの情報提供)



「元旦に起きた地震の地域に送るものを集めている。今日はそちらの地域を回っているので訪問していいか。会社なので支援品を集めて送ることができる」と電話がかかってきたが、怪しいと思って断った。

(関東地方 60代・女性)



不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出があっても断ってください。万が一、金銭を要求されても、決して支払わないようにしてください。

公的機関が、各家庭に電話などで義援金を求めることはありません。公的機関を名乗って連絡があった場合には応じず、まずは当該機関に確認しましょう。また、義援金は募っている団体等の活動状況や用途をよく確認し、納得したうえで寄付しましょう。義援金を口座に振り込む場合は、振込先の名義をよく確認しましょう。

こんなことも！



地震や豪雨、台風などの自然災害による被害で、住宅の修理などが必要な場合でも、慌てずに複数の事業者から見積もりを取ったり、家族や周囲に相談した上で慎重に契約しましょう。

「保険金が見える」と勧誘されても、損害保険が実際にいくら支払われるのか、また、そもそも支払われるのかもわかりません。まずは、自身が加入している保険契約の内容を確認し、契約している保険会社に相談しましょう。

ご注意を！ 儲け話に関するトラブル

投資や副業といった儲け話をきっかけにした消費者トラブルが年齢性別を問わず依然として続いています。投資や儲け話を見聞きしたら、まずは疑いましょう。

投資や儲け話を聞いたら、まず疑う！

「必ず」「確実」は嘘

そんな儲け話はありません

「高利回り」は怪しい

本当なら、他人からお金を集めません

副業や稼ぎ話の勧誘にも注意！

「楽しんで」「簡単」は嘘

勧誘している人に、楽しんで簡単にお金が渡ります

「サポート」「コーチ」は怪しい

本当に稼げる方法は、人には教えません

SDGs わたしたちにもできること ローリング・ストック



大規模な災害が発生すると、物流の停滞により生活に必要な食料や日用品が手に入らなくなることがあります。災害用などの備蓄には「ローリング・ストック(回転備蓄)」がおすすめです。

ローリング・ストックとは、普段の生活で使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、ストックされたもののうち古いものから順に日常生活の中で使い、その使った分を買い足すことで、常に新しいものが保存されていくという災害用備蓄の考え方です。



消費期限や使用期限の定期的な確認ができるので、比較的期限の短いものでも非常食にでき、食品ロスの削減にもつながります。食品を無駄にしないことは SDGs 17の目標の中の主に目標2「**飢餓をゼロに**」につながります。

無理のない範囲で取り組んでみませんか。



おかしいなと思ったら、どうしていいかわからないなど一人で悩まず早めにご相談ください。情報提供も受け付けております。

米沢市消費生活センター

市役所内

知ろう レッツゴーにっごり

相談直通電話 40-0525

相談受付時間(市役所開庁日) 午前8時30分～午後5時

相談してケロー!

